



令和3年2月9日(火) 子育てひろば

『保健師さんの育児相談』

今回の子育てひろばは、保健師さんの育児相談でしたが、前夜からの雪と寒さで参加者なしという残念なことになりました。

予定通り小山田地区担当の保健師の今坂さんに来ていただいたので、情報交換や四日市市の乳幼児の現状を教えてくださいました。

今年の冬は子どもたちの流行疾患(インフルエンザ、RSウイルス、ロタやノロ胃腸炎)がかなり少ない状況です。これはマスクや手洗い、三密を避けての感染予防のおかげとのことです。

しかし、子どもはもともとよく熱を出します。特にコロナ禍の中、高熱が出ると親は焦ります。家族など身近な大人にコロナ陽性者や濃厚接触者、コロナを疑う症状の人がいなければ普通の風邪である可能性が高いそうです。注意すべきは熱の高さではなく、ぐったりしているかどうかです。

◎子ども発熱受診が必要なケース

- ・ぐったりして顔色が悪い。
- ・呼びかけてもぼんやり眠ってばかりいる。
- ・何度も嘔吐する。
- ・水分が取れず半日以上尿が出ない。
- ・けいれんした。
- ・熱が3～4日続くなど…。



特に生後3か月未満は注意が必要。困ったら小児医療電話相談「#8000」を使うことをおすすめします。

子どもがコロナで重症化しにくいのは、生後すぐに予防接種を受け免疫の活性化が働いているからです。時々軽症の風邪を引くのもより強い体になっていく為のトレーニングなのかもしれません。

いつまで続くのかわからないコロナ禍の中での子育てはみんなが不安です。大人として取り乱さず、コロナを疑った差別的な言動を避け応援する気持が持てればと思います。

☆参加者☆ スタッフ3名 保健師1名 民生委員1名

次回、3月9日(火)『お別れ会』は風船ピエロのパフォーマンスです